



会長挨拶

和田 忠彦



被災地の復興は遅々として進まず、消費税増税・原発再稼働の動き・秘密保護法制定・集団的自衛権行使容認の動き・社会保障制度改定問題等々のニュースに不安が募る中、昨年「東北楽天ゴールデンイーグルス」が、日本一に輝いたことは、頑張れば実現出来るという「希望」「勇氣」「元気」を、私たちに示してくれた唯一の明るいニュースであったと思います。

いきいきテニス連盟の仲間も、3.11以来、深い悲しみ・苦しみ・多くの困難にめげることなく、互いに励まし元気を分かち合うことで前に向かって歩んでまいりました。

昨年度の連盟運営にあたっては、会員や関係団体のご理解・ご支援・ご協力を戴きながら、役員一同微力ながらも全力投球をしてまいりました。お陰をもちまして、また一步前進できました。その一端をご報告申し上げ、心より感謝と御礼を申し上げたいと存じます。

具体的には、当連盟の活動状況を会員始め多くのシニアテニスプレーヤーへ発信するために、懸案であった「みやぎいきいきテニス連盟ホームページ」を、昨年5月に会員のご助力を戴き開設することができました。また、連盟の掲げる目的及びシニアテニスプレーヤーに相応しい競技会開催趣旨に向かって、「月例シニアテニス競技大会」(従来の Weekday 交歓会)を仙台市テニス協会のご支援を得て、年間行事の一環に位置付けて戴き、開催施設(コート)を調整会議で確保して戴けることになりました。

今後私たちは、益々進む長寿社会にあって、テニスを通じて更なる健康寿命の増進と友好を目指し、会員を始め多くのシニアテニスプレーヤーの連盟に寄せる希望や期待、ご意見に耳を傾け、会員皆様がこれまで培ってきた経験を連盟の運営にお寄せ下さることもご期待しながら、シニアテニス競技の在り方に一段の創意工夫が出来ますよう努めて参りたいと考えます。

平成26年度も会員始め関係者皆様が、健康でご活躍出来ますようご祈念申し上げますと共に、一層のお力添えをお願い申し上げます。ご挨拶と致します。

目次

会長挨拶・・・・・・・・・・和田忠彦・1	「寄稿」我が家の趣味の畑・・・・・・・・鈴木義昭・14
競技部活動報告・・・・・・・・・・競技部・2	鳥海山をスケッチして・・・・・・・・高橋 功・16
年齢別ダブルス大会・・・・・・・・・・2	願いは、健康長寿そして・・・・・・・・樋口義修・17
混合ダブルス大会・・・・・・・・・・3	私のスキー・・・・・・・・・・太田せつ子・18
技量別ダブルス大会・・・・・・・・・・3	入退会手続き・・・・・・・・・・事務局・19
連盟祭り・Weekday交歓会・・4	ホームページの開設、大会実施要項の改訂・21
大会優勝者の一言・・・・・・・・・・5	平成26年度年間行事予定・・・・・・・・事務局・22
対外部活動報告：県南ブロック交流会・・・・・・・・9	主要大会開催要領・・・・・・・・・・競技部・23
県北ブロック交流会・・・・・・・・・・10	平成25年度行事実績・定期總會報告・・・・・・・・25
対いわきVTC親善交流大会・・・・・・・・11	会計報告・・・・・・・・・・・・・26
東北マスターズ福島大会・・・・・・・・12	連盟規約・・・・・・・・・・・・・27
ねんりんピックこうち大会・・・・・・・・13	平成26年度連盟組織体制・編集後記・・・・28

平成25年度 活動報告

競技部 小田島 政勝

東日本大震災から3年が経過した平成25年度は、東北楽天ゴールデンイーグルスが西武ライオンズを僅差で破ってリーグ優勝を果たしたばかりか、圧倒的な力を誇る巨人軍を倒して日本一の栄冠に輝きました。

震災直後の嶋選手が球場で語りかけた『見せましょう。東北の底力を・・・』が、3年目で実を結び、何度か球場に足を運んだ私も、ほんとうに大きな感動と力を貰うことができましたし、『スポーツの力』の大きさを改めて思い知らされました。

そして数年前、当連盟の年齢別大会で医療用具販売の若い女性社員が話してくれたことを思い出しました。「高齢の人が多い大会なので、どんな試合をするのかなと思っていましたが、想像をはるかに超える動きと素晴らしいゲーム展開にほんとうにびっくりしました。そしていっぱい元気を貰いました！」この女性社員の話から、和田会長がいつも言っている「われわれテニス連盟の活動は、結果として必ず国や地方自治体の高齢者福祉施策の貢献に繋がっているんだ」ということを改めて実感することができて嬉しくなったことを思い出します。

みやぎいきいきテニス連盟は、「テニス」を生涯スポーツとして位置付けています。今年度も会員の皆さんからいろいろなご意見を頂き『高齢者のテニス競技団体』に相応しい大会となるよう和田会長を筆頭に役員一同努力して行きたいと思えます。

平成25年度4大大会〔年齢別ダブルス／混合ダブルス／技量別ダブルス／連盟祭り(団体戦)〕は全て天候にも恵まれ元気いっぱいの力のこもった熱戦が繰り広げられました。

〔年齢別ダブルス大会〕

〔期 日〕 平成25年5月25日(土) 9:00～17:00

〔会 場〕 七北田公園コート 8面

〔参加者〕

	今年度	24年度	23年度
男子	40名	28名	36名
女子	40名	43名	30名
合計	80名	71名	66名
		雨天中止	

今年度	男子	女子
110 ⁺		4組
120 ⁺	4組	8組
130 ⁺	4組	8組
140 ⁺	12組	
シニア	0名	0名

1. 各クラスはラウンドロビン方式により順位を決定する。
2. 試合はノーアドバンテージ方式による6ゲーム先取とする。

〔年齢別ダブルス大会各クラス入賞者〕

男子	1位	2位	3位	4位
120+	平間 篤 鈴木 義昭	斉藤 次郎 小谷 昭一		
130+	高橋 捷夫 庄司 信雄	佐藤 健造 城戸 英郎		
140+	新田 英昭 松山 眞水	坂本 政祀 松浦 真	井澤 秀雄 保志 則行	中村 行秀 菊地 昭男

女子	1位	2位	3位	4位
110+	大槻 律子 山本むね子	遠藤 慶子 刺又 桂子		
120+	千坂 三月 佐藤 茂子	布留川三枝子 日高登志子	櫻谷恵美子 城田 陽子	跡辺清子 菊地千鶴子
130+	佐藤 勝子 渡部 静江	中川 和子 工藤真理子	郷右近勝子 滝山由美子	北野 妙子 加藤 信子

〔混合ダブルス大会〕

〔期 日〕 平成25年6月29日(土) 9:00～17:00

〔会 場〕 七北田公園コート 8面

〔参加者〕	今年度	24年度	23年度
Aクラス	12組	13組	11組
Bクラス	23組	22組	15組
Cクラス	0組	5組	7組
合計	35組	40組	33組
	雨天中止		

1. 各クラスはラウンドロビン方式により順位を決定
2. 試合はノーアドバンテージ方式による5ゲーム先取

〔混合ダブルス大会各クラス入賞者〕

	1位	2位	3位		4位		
Aクラス	渡邊 貞夫 遠藤 慶子	小野 吉弘 佐藤 茂子	中尾 紀一 千坂 三月	新田 英昭 中川 和子			
Bクラス	菊池 繁夫 櫻谷恵美子	佐々木宏昭 梅崎千枝子	庄司 信雄 千葉みち子	金谷 昌徳 金谷まゆみ	山本 政彦 千葉 和子	松浦 孝久 庄子 和恵	奈良征一郎 和田 忠彦 山崎由美子 渡部 静江

〔技量別ダブルス大会〕

〔期 日〕 平成25年8月31日(土) 9:00～17:00

〔会 場〕 七北田公園コート 8面

〔参加者〕	今年度	24年度	23年度
男子	36名	36名	32名
女子	36名	38名	43名
合計	72名	74名	75名

	男子	女子
Aクラス	7組	Aクラス 8組
Bクラス	11組	Bクラス 7組
Cクラス	0	Cクラス 3組
シニア	0	シニア 0

1. ラウンドロビン方式を基準とし、複数リーグは順位決定戦を行う
2. 試合はノーアドバンテージ方式による5ゲーム先取

〔技量別ダブルス大会各クラス入賞者〕

男子	1位	2位	3位	4位
Aクラス	新田 英昭 菊地 昭男	渡邊 貞夫 加藤 精一	北野 寿一 小野 吉弘	
Bクラス	高橋 捷夫 千田 正義	中川 英夫 和田 忠彦	土生 寛 石田 哲也	齊藤 昭男 藤田 吉雄
女子	1位	2位	3位	4位
Aクラス	布留川三枝子 跡辺 清子	木村むつ子 日高登志子	中川 和子 水戸真理子	大槻 律子 山本むね子
Bクラス	山崎由美子 井坂 律子	千葉 和子 郷右近勝子	西村 則子 佐藤 勝子	
Cクラス	北野 妙子 加藤 信子			

〔連盟祭り(団体戦)〕

〔期 日〕 平成25年12月7日(土) 9:00～17:00

〔会 場〕 シェルコムせんだい 6面

〔参加者〕	今年度	24年度	23年度
男子	34名	32名	35名
女子	49名	52名	50名
合計	83名	84名	85名

1. 参加者全員を4組(赤組・青組・緑組・桃組)に分けて、女子、男子、混合の各ダブルス3種目による団体戦を行いました。
2. 試合はノーアド方式による、1試合20分間の時間制限としました。

〔成 績〕 試合の勝数の多さで順位を決定しました。

	赤組	青組	緑組	桃組	勝敗	順位	チームリーダー
赤組 22名 (男子9、女子13)	/	5-9	4-14	9-7	18-30	敢闘賞	高橋捷夫 木村むつ子
青組 20名 (男子8、女子12)	9-5	/	10-7	9-7	28-19	準優勝	小谷昭一 千葉みち子
緑組 21名 (男子8、女子13)	14-4	7-10	/	9-6	30-20	優勝	白根晴男 佐藤勝子
桃組 20名 (男子9、女子11)	7-9	7-9	6-9	/	20-27	敢闘賞	武田隆一 庄子和恵



優勝の緑組



準優勝の青組

ウイークデー交歓会について …連絡事項…

1. "ウイークデー交歓会"の名称が変わりました。
新しい名称は"月例シニアテニス競技大会"となります。
2. 7月の南インターでの開催がなくなり、七北田公園コートとなります。
3. 月により終了時刻が変わり、特に11,12月は15時で終わりとなります。早めにおいで下さい。

2013年の皆勤賞は6人の方でした。(敬称略)

遠藤慶子、布留川三枝子、山崎由美子、小谷昭一、斉藤昭男、奈良征一郎
おめでとうございます。

斉藤 次郎



三大ダブルス大会優勝者の一言

『年齢別ダブルス大会優勝者』

男子120歳以上： 平間 篤・鈴木義昭（記）

年齢別大会で久しぶりに優勝させていただきましてありがとうございました。今回の試合では常に攻撃の姿勢を崩さずに常に前にでて相手に圧力をかけていくことが勝因と考えております。

年代とともに脚力、腕力は次第に衰えてくることはやむをえませんが、自分達にあったテニススタイルを守り続けることが大切です。試合で初顔合わせの時、最初の2、3ゲームは対戦相手の技量、二人の連携などを観察しながら試合を進めていくことになります。ダブルスは相手の動きを読みながら隙の出たコースを狙い、また弱い方を攻めるのが鉄則となります。このことを常に念頭に入れ、苦しくとも相手へのコースを狙いながら返球してまいります。2、3球我慢し続ければ必ずチャンスボールとなりパートナーが決めてくれます。常にパートナーの動きを見ながら隙のないように一球、一球ごとに最適なポジションをとるよう心がけます。ゲームには「流れ」があります。一球のミスで相手にゲームの主導権を奪われることもあります。先にゲーム数をとっていきますと守りの姿勢が出てまいります。こんな時は弱気の返球となり、相手の攻撃はより鋭さをましてきます。気力を振り絞り自分の得意なショットにもちこむまで耐えることも必要です。所属クラブでは基本動作の反復練習はもちろんリーダーにより作成された年間計画に基づいた試合を想定した月毎の課題に基づいて練習を進めております。



男子130歳以上： 高橋達夫（記）・庄司信雄

6月26日七北田公園テニスコートにて行われました本大会に庄司信雄さんとのペアで初挑戦の参加となりました。庄司さんとは壮年テニス連盟クラブ時代よりのお付き合いで、まさかの優勝はうれしい限りです。テニスを始めたのは社会人になり新潟より仙台に転勤した30歳半ば、上司より勧められて始めました。その時同じ職場にいた田中さんも一緒に始め、テニス仲間として現在に至っております。余談となりますが、陸上競技を中学1年から始め6年後の岡山国体において決勝戦は最終日、多くの観客と声援の中、走ったことの快感を思い出します。テニスを始めて30年、成長が見えず快感の思い出もなし、何とも恥づかしい。しかし、テニスは私の友、「成果と反省」の日々でも、和気あいあいの毎日を過ごしています。



『年齢別ダブルス大会優勝者』

男子140歳以上
松山眞水・新田英昭



女子120歳以上
佐藤茂子・千坂三月



『技量別ダブルス大会優勝者』

男子Aクラス
柴地昭男、新田英昭



女子110歳以上：大槻律子・山本丸ね子（記）

20年以上、テニスを一緒にして来た大槻さんと久しぶりにダブルスを組み、優勝する事が出来ました。

いきいきテニスに、今春入会しての初めての試合で、対戦相手のテニスのうまさに四苦八苦し、「楽しんで行こうね」って話し合っていました。が、なかなかうまくいかず四苦八苦し、毎回苦しい試合ばかりで、一つ終わる毎に、気合を入れ直し、やっと勝つ事が出来ました。

ボレー、ロブ、足元などテニスの基本の大切さを感じ、これからも練習し、今後のプレーにいかしたいと思いました。試合の合間のおしゃべりも楽しく、すぐ仲間に入れて頂き、交流も出来ました。本当にありがとうございました。



女子130歳以上：佐藤勝子・渡部静江

心若く、心美しく、そしていつまでも健やかにテニスが続けられるように！！ 今回喜びのカップを手。

『よかったね、勝ちゃん！！』（しずえ）

5月晴れの中、試合も終わり二人で手にした優勝カップ！！
ありがとう静江ちゃん。（勝子）



『混合ダブルス大会優勝者』

Aクラス：渡邊貞夫、遠藤慶子（記）

私はいきいきに入って十年余り、沢山の方々に出会いました。その中で、色々なことを学び、楽しみ、喜びを頂きました。井の中の蛙…だった私でしたが、皆さんのお蔭で少しはオトナにのびた気がします。

皆さんに出会わなければ今の私じゃなかったと言っても過言ではありません。

今回優勝ご導いてくださった渡邊さんとの出会いも喜びの一つです。こんな私が優勝できたのは、本当に渡邊さんのお蔭だと、感謝しています。出会いに感謝して。これからは、明るく、楽しく、美しく(笑)をモットーに、頑張っていきたいと思います。



Bクラス：菊池繁夫、櫻谷恵美子（記）

まったくペア練なしの試合、そして苦手な混合ダブルス、優勝できたのは、ペアの菊池繁夫さんのお蔭です。Bクラスは23組もエントリー、「楽しんで行きましょう！」と声を掛けて頂き、心強く感じましたが、最初対戦相手のペースとなり苦戦しました。それでも菊池さんの思いっきりの良いストローク、そしてコースに助けられ、徐々にコンビネーションも良くなり、ボールに集中でき何とか戦う事が出来ました。

一日7セットの試合でしたが、疲れ知らずの菊池さんには驚きです。



『技量別ダブルス大会優勝者』

男子Bクラス：高橋健夫(記)・千田正義

8月31日七北田公園テニスコートにて行われました本大会は、初のペア・千田正義さんと挑戦いたしました。

千田さんとは泉パークタウンテニスクラブにて常日頃お世話になっております。また大学女子テニスクラブの監督もされ、忙しい日々を過ごされています。なお、当テニスクラブには、みやぎいきいきテニス連盟会員30名以上の方が会員で、日々交流を深めています。

当日の対戦相手の土生・石田ペアとは10年前に、初めて参加した東北マスターズ大会・秋田以来の強力ライバルでした。

余談になりますが私が陸上競技選手としての原点となった大会は50年前の高校2年、秋田八橋陸上競技場でした。当時の思い出に慕って夜遅くまで秋田美人とお酒を交わし、和田・土生・田中さん他にご迷惑を掛けました。決勝戦も、和田・中川ペアで、完敗のゲームでしたがテニスは楽しい。



女子Aクラス：跡刃清子、布留川三枝子(記)

試合当日、靖秋から暑く残暑が厳しい一日でした。

Aクラスは2ブロックでどちらも強豪揃い、勝つのは厳しいかなと思いましたが、跡刃ちゃんと、「皆上手な人ばかりだけど、諦めず頑張ろうね」と話しました。試合が始まり一試合目はまさかの勝ち、二試合目、三試合目も勝ち、まさか、まさかの勝利。なんとリーグ1位で通過してしまい、二人してビックリしたものでした。準決勝も苦しい試合でしたが、なんとか勝つ事ができ、決勝戦では5-5ジュース1本で勝ち、思わず喜びの声を上げてしまいました。嬉しかったです。

運にも恵まれた試合でした。跡刃ちゃんに、優勝と言うプレゼントを頂き、感謝の気持ちで一杯です。また、日頃、佐々木コーチのレッスンで揉んで頂いているお陰と、感謝、感謝です。帰宅してから5月に逝ったテニスの友に報告し、夜は主人と乾杯しました。これからも、いきいきの大会に参加できる様、身体に気を付けて頑張りたいと思います。宜しくお願ひ致します。



女子Bクラス：山崎由美子・井坂律子

「そのうち一度試合に出ようね!」とのお茶飲み話から始まり、やっと実現しました。勝負に関係なく、楽しく出来たら・・ね!と話していましたが、いざ試合が始まると「リードしていても負けるつもりでやろうね!!」と、井坂さんの叱咤激励の言葉。そして、最高の結果でした。井坂さんありがとうございました。

今回の勝因は、山崎さんのボールの配球の良さにあつたと思います。ゲーム中も「さすが!」と思う場面が何度もありました。また二人で心をつなげてゲームを運べたこと。これからも体調に気をつけ、長く楽しいテニスが出来たらいいなあ、と思っています。



女子Cクラス：北野妙子、加藤信子(記)

今年も異常気象といわれる暑さの中での大会、皆様のパワーに圧倒されました。パートナーの北野妙子さんから、年々大会出場者の減少を心配されての強いお勧めがあり、久しぶりに出場させていただきました。お蔭さまで、優勝というおまけまでついて、楽しい一日を過ごせて頂きました。有難うございました。

今朝のNHK「きわめびと」で106歳の声楽家の驚異的活躍ぶりを拝見し、まだまだ30年以上あると、意を強くした次第です。

楽天イーグルスも、東北に喜びと感動をもたらしてくれました。感動と笑顔が、健康維持のための妙薬であることを、身を持って体験しています。役員の皆様のご苦労に心より感謝申し上げます。



(三大会優勝者の皆様ご投稿をお願いしましたが、投稿して下さった全組を掲載しました)

『東北マスターズ「ゴールドの部」V 回想記』

“パートナーの御蔭”

10月初めの郡山市の好天と全面張り替えのテニスコートに迎えられて、やる気十分。加えて、開会式で、県外大会では最近に多く多数の「みやぎいきいきテニス連盟」の仲間(主管の福島県90名に次ぐ最多30名+役員さんのご努力も)と一緒に整列でき、やる気は更に鼓舞されたのでした。

ゴールドの部(男子は喜寿以上で合計155歳以上)は前大会から設けられたもので、今回は参加8チームでしたが、正パートナーの和田会長さんのお蔭で、優勝することができたのでした。

試合をふり返っての私の教訓=非凡な人のなら兎も角、ミスは警えエース狙いのアタックミスといえども、“ダブルスではチーム力減退→自滅→敗北に繋がる”ということ。私も最近少しは分かって来たつもりでしたが、改めて、再認識させられました。

事例1. 予選第2試合の福島のM・Tさん組との試合。攻撃力はこちらが上と踏んで臨んだのが間違いか? 確かに相手のアタックエースは少数でしたがミスが少なく粘りに粘られ、挙げ句は私のアタックミスなどから3-4の40:0で時間切れの思わぬ敗戦の例。

事例2. 決勝トーナメント・決勝戦での宮城のM・Tさん組との試合。前半は私のアタックミスもあって3-3の接戦。後半は“冷静”を合言葉にリスクを避けつつ、私も積極的に前に出ることも功を奏して6-3で優勝できた例。(前に出るについては、実は平成22年の秋田大会150歳の部でも組んで頂いて優勝出来た時に、和田会長さんに教えて貰っておったのです。今回に活かしたのでした。)

斯くごとく、私の生涯で忘れ得ないテニスの最高の思い出を、二つも齎して頂いたパートナー和田会長さんには、唯々感謝です。そして、ご支援頂いた仲間にも感謝です。

追記: 中村前会長・岩手の小川さん組と館林いわき元会長・安藤郡山会長さん組にも対戦できてご恩返しができ、上手くなったねと褒めて頂いたのもよい思い出。

本大会は宮城県勢が大勢で参加し、良い成績を一番多く収めました。本年の山形大会にもみんなで大勢参加して楽しみましょう。“テニスってホントニスバラシイデスネ!

本年も皆さん、この老体も何卒ヨロシク!



2013年県南ブロック交流会

星 将博

日時：2013年4月19日 10時～14時

場所：グリーンピア岩沼

参加者：仙台 男子 12名、女子 21名 計 33名

県南 男子 7名、女子 6名 計 13名

総計 46名

前日の天気予報は雨、しかし当日は予報に反し晴れわたり、テニス日和りとなりました。慌ててテニスの準備し家を出た人も多かったようです。それでも10時の開会式には参加者のほとんどは出席し、予定通りプレーに入りました。

今回の参加者は仙台地区が多く、県南地区からは極端に少なかったことから当初予定していた団体対抗戦を取り止め、くじ引きでパートナー、対戦相手(1試合ごとに変わる)を決め、個人戦を行いました。試合は30分(ホイスルを合図に)6ゲーム先取で、全員が4回試合出来るように組まれた対戦表を基に行われました。昼ころから風が強くなりましたが、それをものともせず各コートで白熱したゲームが行われました。

試合後4戦全勝者が紹介され、大会の使用球が賞品として渡されました。満開の桜のもと、持ち弁と団子を食べ、お互いの健闘をたたえ合い、親交を深めた温かい交歓会となりました。

なお、今回の参加者から以下の要望が寄せられております。

1. 県南地区の参加者を増加し、できれば地区対抗を再現して欲しい。
2. 14時で終了したが、折角集まったので15時位まで延長してほしい。
3. 次回も桜の満開時期に大会を開いて欲しい。

これにつきましては県南役員会で検討し、次回大会でできるだけ反映したいと思っております。ご参加ご協力有難うございました。



2013. 4. 11 県南ブロック交流会 (グリーンピア岩沼)

2013年県北ブロック交流会

菊地 昭男

日時 2013年10月10日(木)
場所 松島町高城運動公園
参加者 総数64名(男子27名、女子37名)

県北ブロックでの交流会も今回で8回目、昨年同様、松島町高城運動公園(コート4面)にて10月10日開催されました。前日までの台風(24号)の影響により開催も心配されましたが、台風一過、晴天に恵まれ、また多数の参加者を得て、楽しい交流会になりました。

今回も昨年同様、一試合20分の時間制限で行われ、仙台チーム対県北チームの対抗戦方式(仙台チームからの派遣を受けながら)を取り、参加者総数64名(男子27名、女子37名)、試合総数68(男子ダブルス15、女子ダブルス23、混合ダブルス30)と対戦の結果、仙台チーム42勝、県北チーム17勝、と仙台チームの圧勝で終わりました。

県北交流会は、「食べてテニスを楽しむ」のがモットー(菊池繁夫さんの言葉)に、豚汁を始め多種類の餅など、皆さんの期待に添えたものと思っております。

また行事進行に当たり多数の方々からご支援頂き、怪我もなく、無事終了する事ができました。ありがとうございました。今年もよろしく申し上げます。

(参加者より)

参加者の皆さんのパワーに、台風が飛ばされたのでしょうか。

コートの元気なプレーに、日傘の花が揺れる、気持ちの良い一日でした。

一年ぶりに訪れたコートは、笑顔や歓声が溢れ、ナイスプレーに大きな拍手が送られていました。

交流会の目玉!美味しい豚汁やお餅、果物・・・やはりこれですね!

準備は本当に大変でしたでしょう。ありがとうございました。大人気の県北ブロック交流会です。又、是非参加したいと思います。 川島 民子



2013. 10. 10 県北ブロック交流会 (松島町運動公園)

第 26 回対いわきVTC親善交流大会

26 回目の親善交流大会が 9 月 14 日(土)、15 日(日)の 2 日間に亘り、いわきベテランテニスクラブ(IVTC)の主催により、いわき市平テニスコートで行われました。昭和 62 年 9 月に第 1 回がスタートし、いわき/みやぎが交互に主催して毎年開催されて来ましたが、平成 23 年の 25 回目のいわき開催が、3.11 大震災と原発事故のため中止となったので、いわきでの開催は 4 年ぶりとなりました。参加者は、いわき側が、男子 12 名、女子 18 名の小計 30 名、みやぎいきいき側が、男子 8 名、女子 8 名の小計 16 名、合計 46 名でした。

心配された天気も初日は蒸し暑いが晴れとなり、「親善交流を第一」に男子ダブルスと女子ダブルスで楽しくプレーできました。

夜はコートから 15 分程の新舞子浜公園の南端にある新舞子ハイツで楽しい懇親会。恒例となった 100 円ジャンケン(勝者が翌日アイスの差し入れ)、そしてカラオケ等々。あつと言う間に時間が過ぎ、二次会用に用意された別室に移り更なる懇親会が続きました。

2 日目は天気予報より早く朝から雨。朝食後コートに集合しクラブハウス内で集合写真を撮り、予定された混合ダブルスに代わって 4 組に別れての対抗戦組合せが急遽作られ、天気の回復を待ちました。なんと 10 時前に一時雨が止み、コート上で集合写真を撮り直し、そして対抗戦がスタートしました。1 組目の全対戦が終了したところで雨脚が強くなり、以降の試合は中止。

閉会式後、弁当といわき名産の焼菓子「自安我楽(じゃんがら)」、なし等を戴き、11 時過ぎに解散となりました。いわきの皆様どうもありがとうございました。

次回はみやぎ側の主催です。多くの方々の参加をお願いします。



2013. 9. 15 対いわきVTC親善交流大会 (平テニスコート)

第 23 回 東北マスターズテニス福島大会

10月3日(木)～4日(金)、第23回東北マスターズテニス福島大会が郡山市営テニスコートで開催されました。東北自動車道郡山 IC から近く、2～4面毎に配置された全16面(ナイター設備10面)のコートです。心配された天気も多少肌寒い曇天でしたがテニスをやるには絶好の日和となりました。

今回の参加者は、208名(男子121名、女子87名)(青森24名、秋田18名、岩手20名、山形26名、宮城30名(他県の方と組んで出た方を含めると男子17、女子15の32名)、福島90名)と盛会となりました。

試合は、男子120～150歳以上4種目、女子110～140歳以上4種目、ゴールドの9種目で、6ゲーム先取ノーアド/35分打切り、各ブロックのリーグ戦、決勝トーナメント等で行われました。宮城からは、男子130歳以上1組、140歳以上4組、150歳以上1組、ゴールド3組、女子110歳以上1組、120歳以上5組、130歳以上3組がエントリーし、熱戦を繰り広げました。

初日試合終了後は、会場から20分程の磐梯熱海温泉「ホテル華の湯」で18時30分から懇親会が開催され、福島県の会員の方が各種サックスを使い分けてのジャズから演歌までの幅広い演奏で宴を盛り上げて下さり、カラオケそして最後は手製の面を付けて全員で「ひょっとこ踊り」に興じました。

翌日は引き続きリーグ戦が行われ、その後順位決定トーナメント等が行われました。宮城の上位入賞者は次の通りです。

男子140歳(23組)	優勝	松山 眞水・新田 英昭
	準優勝	渡邊 貞夫・加藤 精一
	3位	飯野 雅・中尾 紀一
男子150歳(8組)	準優勝	奈良 征一郎・菊池 繁夫
ゴールド(8組)	優勝	土生 寛・和田 忠彦
	準優勝	村上 實・館内 規之
女子120歳(18組)	3位	中川 和子・渡部 静江
女子130歳(11組)	優勝	布留川 三枝子・千坂 三月

全9種目中7種目にエントリーし、5種目で優秀な成績を収めました。平成26年は、10月2日(木)、3日(金)山形県天童で開催される予定です。



ねんりんピックこうち大会参加報告

日時 平成25年10月27日(日)～28日(月)
会場 高知県立春野総合運動公園 テニス場
高知市総合運動場 テニスコート

出場選手

	宮城県	仙台市
男子 60 歳	平間篤・(菅原良司)	(大槻宗弘)・(東海林光男)
男子 70 歳	菊地昭男・(小幡勝利)	太田貞夫・保志則行
女子 60 歳	(荒井りつ子)・(川原悦子)	(菊地ちか子)・斉藤由希子
監督	菊地昭男	斉藤次郎

(カッコ)内は、みやぎいきいきテニス連盟非会員

宮城県・仙台市チーム成績

第1日目(10月27日(日))ラウンドロビン方式の予選

宮城県：Gブロック4位 (宮城県、東京都B、兵庫県、広島県)

仙台市：Oブロック3位 (仙台市、川崎市、滋賀県、高知県C)

第2日目(10月28日(月)) 1、2、3、4位毎のトーナメント戦

宮城県／青森県：1－2(2回戦)

仙台市／札幌市：2－1(2回戦)、仙台市／熊本県：1－2(3回戦)

全体としての成績

	(優勝)	(準優勝)	(3位)
1位グループ	栃木県	山口県	高知県A、横浜市
2位グループ	千葉県	神奈川県	
3位グループ	千葉市	東京都A	
4位グループ	新潟市	青森県	

今年は、台風の多い年でした。台風26号では伊豆大島で大被害を受け、一週間後には27号が発生し、ねんりんピック開催も危ぶむ状況の大型台風でしたが、幸いにも台風一過晴天に恵まれた交流会でした。

大会は、高知市郊外の県立春野総合運動公園にて総合開会式が行われ、高知県民総勢の歓迎を受け各種イベントが開催され、本場よさこい踊りが印象的でした。

テニス交流大会は、県立春野運動公園内にあるテニスコート(16面)、高知市総合運動場(7面)にて全国69チームで行われました。

宮城県の子選リーグは、東京都B、兵庫県、広島県と強豪との対戦でしたが、前評判では今回の選手力量も高いとのことでしたので、自分も期待しておりましたが予選リーグでは惨敗。2日目のトーナメントは、4位グループで青森県との対戦でしたが、1勝2敗で青森に負け。因みに、4位グループでは青森は2位(18チーム中)でした。

試合には反省点は多々ありますが、特に感じることは自分を含め普段の力を出し切れなかった点にあると思いました。それには、練習試合数を増やし精神を鍛えることではないかと思いました。



(宮城県監督 菊地 昭男)

[寄稿]

我が家の趣味の畑

鈴木 義昭

皆様と同じように退職後はテニス三昧の毎日を過ごしております。十三年前から古屋を取り壊し、空地（約50坪）となったところを雑草取りばかりするのはもったいないので畑とし、テニスのない日は農作業を楽しんでおります。

○畑としての土づくり、栽培時の施肥

土の改良には3年間市販堆肥を説明書に書いてある適量の3倍位、その他腐葉土、配合肥料、ぼかし肥料、骨粉、化成肥料を施肥していきました。土が改良されていきますと黒々でしっとりとなり、軽く握るとよくまとまり、ほぐすとすぐにバラバラとなるいわゆる団粒構造となり、農地として適正な土壤に改良されます。もちろん毎年耕す前には石灰を十分にまき耕し、土壌の中和を行い一週間位放置、施肥、さらに一週間放置し、播種、苗の植え付けとなります。特に弱アルカリ性を好むホウレンソウなどの場合は石灰量を増やすことも必要です。また花卉類に施肥量は野菜より控えめとし油粕、骨粉などを加えていきます。野菜、花卉類共それぞれの品種に合う追肥を適宜おこないます。植木類にはパーク堆肥を用い土壤を改良しました。植木類には施肥はあまり行いませんが、花木類（アジサイ、皐月、さざんか、ボタン等）は、花が終わった後の御礼肥施肥（油粕、化成肥料など）を行い、植木全体には冬の寒肥施肥（パーク堆肥、油粕、骨粉など）を行います。

○栽培している野菜、花卉、植木

植木類も植えており、野菜、花卉を植えているのは35坪位であります。多品種のものを栽培しており季節毎の播種、苗づくり、植え付けをタイミングよくしないとうまく廻りません。また種、苗の説明書の適正な植え付け間隔は守れず5割増〜2倍の密植となり、後述の追肥、農薬散布、間引き、草取りなどの世話も手間のかかる仕事となっております。

◎冬・春野菜：

玉ネギ200本位、にんにく20本位（前年秋植え付け）、イチゴ（50〜60株、前年種株よりランナーで増やした株）、長ネギ多数（前年秋播種、春植え付け）、ブロッコリー、カリフラワー、きぬさや、かぶ、つぼみ菜等の葉物類。イチゴは市販バックで20杯分位の収穫となります。

◎夏野菜：

トマト類（大玉12本位、フルーツトマト、ミニトマト4本位）、トウモロコシ40本位、ナス（丸ナス10本、米ナス2本位）、キュウリ（12本位）、枝豆、ピーマン、ししとう等、トマトは大玉200個位、ミニトマト類は多数、ナス、キュウリは数え切れず（一日に20〜30個取れる時期もあり）ピーマン、ししとうも我が家だけでは食べきれない量が収穫されます。夏野菜は特に連作障害の多い作物であり畑部分を4分割し、一年毎に作付け場所を変えております。ジャガイモ、サツマイモ、ニンジンなどは作付面積が取れず今は作っていません。

◎秋野菜：

白菜（40〜50株）、大根（2種50〜60本）、キャベツ（20株位）、ホウレンソウ等の葉物類、白菜は2回、大根は3回に分けて播種時期をずらします。白菜、大根は漬物も作ります。



◎花卉類：

多年草、2年草：菊類200本位（10種位仏花用の中輪、スプレー菊が主、5月さし芽釣鐘草（24株位）、あじさい（4種）、なでしこ、ルピナス、ボタン、シャクナゲなど。

一年草：アスター3種位、金魚草、スターチ、けいとう、キンセンカなど。

球根類：ユリ（30本位）、グラジオラス（40本位）、すいせん、クロッカス、サフランなど
収穫物は野菜、花卉とも我が家だけでは余るので身内、ご近所さんにもさし上げております。ブンと青臭い香りのあるトマト、キュウリ、とりたて、ゆでたての甘いトウモロコシ、枝豆等、昔母の実家で食べた味が楽しめます。花卉類は5月～11頃まで次々と咲きます。

◎植木類（苗木を購入し、剪定しながら庭木に仕立てています。）：

黒松、赤松、五葉松、つげ、どうだんつつじ（2種）、馬酔木（2種）、もみじ、カエデ類（3種）、やまぼうし、シャクナゲなど、その他従来からある早月類など多数。初夏、秋の剪定（早月の花後の刈込、松のみどり芽つみ、古松葉のもみあげ等）それぞれの樹種に必要な手入れを行います。

○ 病虫害、鳥類、猫等の被害

狭い土地に密植、多施肥量で栽培しており病虫害が出やすいのは当然です。いずれも予防保全が原則となります。初期は無農薬、無化学肥料をめざしましたが当然ながら堆肥だけでは生育が悪く、また害虫は全て毎日とり続けましたが追いつきません。病害発生時は病害にかかったものを抜き取るだけで対策のとりようがないのが現状でした。結局市販の農薬を使い使用濃度、量は守りますが使用回数を少なくするよう心掛けております。また毎日観察し手入れを十分おこなうようにします。トマトなどの夏野菜の例ではマルチシート（黒のビニールシート）敷いて植え付け、土壌水分を上げないようにし、苗がある程度伸びたら2、3段位下枝をとり地面に葉がつかないようにすることや、追肥にカキ殻粉を追加し土を中性～アルカリ性に保つことなどそれぞれの作物、花卉にあった対応をしております。

住宅地のだ真ん中の畑であり、野鳥（カラス、雀、ムクドリ他）が集まってきます。発芽時は芽をついばんでしまいます。冬季は周りに餌がありませんのでキャベツ、ブロッコリー等の葉の硬い分までつかれてしまいます。なりもののトマト、トウモロコシ、キュウリ、ナスは食べ頃を見計らったように荒らされます。また猫が縄張りとして巡回し耕してきれいに畝を作ったところや播種時にマーキングをし、こねくり回します。結局種まき時にはトンネルをつくり鳥よけの網を畝ごとに張ることになります。なりものには畝周りに垣根を組み、ゴルフ練習用の網と同じように太い糸の鳥よけ網を張り巡らせます。

○ その他の管理

灌水は畑に水道を引いており水道料金が高くなるのが悩みですが水撒きは常時可能です。雑草を根絶やしとするのに最初は手間がかかっても必ず根まで抜き取るようにしました。今は芽がでたらこまめに抜き取るのであまり苦になりません。朝晩畑を見廻り、季節ごとの作業内容を決め、収穫を楽しみながら手入れに励んでおります。

5坪、10坪の狭い土地でも工夫次第で数種類の野菜や花卉を育てることができます。皆様も野菜、花等を育ててテニス以外の楽しみをふやしてはいかがでしょうか。



[寄稿]

鳥海山をスケッチして鳥海山の夕陽を見ながら温泉を満喫しました

高橋 功

明日が快晴との天気予報を見て、スケッチしながら温泉を楽しもうと、前日に最後の一部屋予約できたホテル・フォRESTタ鳥海(秋田県由利本荘市)へドライブにでかけることにしました。

＜ホテル・フォRESTタ鳥海(温泉)と鳥海山スケッチ場所(大川端)の地図＞



仙台⇒鳴子⇒秋の宮⇒雄勝⇒矢島とドライブし由利本荘市を目指しました。由利本荘市街を過ぎると残雪の鳥海山



が見えてきました。そろそろスケッチできるポイントを探そうとマイカーを減速し時折のポイント休憩を始めました。大川端付近に来て残雪鳥海山と田植後田んぼのスケッチポイントをゲットしました。こころワクワクさせながらスケッチブックと鉛筆・絵の具を手折りたたみ椅子に腰掛けて、しばらく風景を眺めていました(直ぐに描きません脳裏に風景をインプットします)。おもむろにスケール(又は親指と人差し指で四角の枠を作る)で、目の前の風景のどこを・どの位置で・どこまで描くなど決めました。残雪鳥海山がメインなので、山の稜線を目で追い、どのような面の連なりかが麓から山頂にと連なっているかを最初に描きました。

目に見える山頂と数キロメートルもの隔たりがあるので遠近間を意識してペンの太字・細字と色彩の濃淡を表現しました。麓の青・橙色した屋根のある民家と田植えが終って水面に飛び出ている緑の稲葉が残雪の鳥海山を盛り立てていました。あつという間の2～3時間でした。

作品(6号油絵)は、せんだいメディアテーク(定禅寺通)で8月に展示する予定です。

スケッチの後は、祓川の鳥海山登山口(矢島口)へ行き、春スキーを楽しそうに山頂から滑り降りてくるシニア夫婦と出会いました。登山口から山頂までスキーを背負って3～4時間歩いて、滑り降りるのは30～40分ですが、途中休憩で遠くに見える海岸線・部落・影鳥海等の景色は素敵でした、とニコニコと話してくださいました。

続いて法体の滝へ行き豪快に落ちる滝に圧倒されました。滝の下流は『釣り吉三平』のロケーション場所でした。近くのレストハウスに大物を釣り上げた時の撮影写真が展示してありました。この地域の温泉地“レストハウス・フォRESTタ鳥海”に夕方5時頃に着きました。日本海まで裾野が広がる日本では珍しい海岸線にそびえる独立峰『鳥海山』、



山麓に広がるブナ樹海に囲まれ、鳥海山を凜(りん)と佇(たたず)むホテルでした。早速露天風呂から残雪鳥海山を眺めながら、本日の疲れを心地良く癒してくれました。翌朝、露天風呂から朝焼けの残雪鳥海山(山は雪に映えたピンク色でした)を眺めてうっとりしての長い風呂となりました。

翌日は、赤いつつじが湖面に映える鳥海高原花立と菜の花祭り鳥海高原桃野を楽しみながら帰路につきました。

[寄稿]

「願いは」・・・「健康長寿、そして、ピンピンコロリン」

樋口 義修

平成25年4月から、定年後の第2の人生がスタート。「定年一年生」の奮闘ぶり（＝悪あがき）を紹介させていただきます。最初に考えたことは、どうしたら「濡れ落ち葉」や「粗大ゴミ」にならずに済むのか？ 出した答えが、「充実ライフ」＝「早朝ウォーキング+テニス+料理+ベランダガーデニング+音楽（弾き語り）」でした。

「健康長寿」の為に、「運動と食事」が大切ですから、毎朝台原森林公園を一周する「ウォーキング」と毎日最低1時間の「テニス」に励み、週一回は「料理」にチャレンジ。「精神のリフレッシュ」の為に、「ベランダガーデニング」で植物と語り。

そして「ボケ防止」の為に、若い頃かじったことのある楽器（夫・ギター、妻・ピアノ）に再挑戦することにしました。（結果は、準備運動やストレッチ不足のため、ひざ痛とテニスエルボーで、整骨院通いの日々です・・・）。音楽（弾き語り）については、どうせやるなら、夫婦二人で一緒に練習すれば、「騒音公害」で喧嘩することもないだろうと、各々「60の手習い」を開始。まずは、機器一式（ギター・電子ピアノ・アンプ・マイク・マイクスタンド・譜面台 etc）を揃えて、万全の態勢を整えました。

ところが腕の方は、若い時と違って遅々として上達せず。まあ焦らずスローペースでも楽しめればいかと、気を取り直して練習に励んでいます。下手なりに、今年は6回演奏する機会がありました。

- ① 泉パークタウンテニスクラブ 2回
- ② ピアノ教室発表会 2回
- ③ 島村楽器音楽スタジオ 1回
- ④ いとこ会新年会 1回

ただ、テニスの試合と一緒に、緊張のあまり練習時の半分も力を出すことが出来ず、毎回悔いがありました。やはり、場数を踏んで雰囲気になれることが必要ですね。普段は練習もサボリがちですが、発表の機会があると、それに向けて集中するので、これからも積極的に参加したいと思っています。

直近では、12月22日(日)泉パークタウンテニスクラブ・クラブハウ斯拉ウンジで開催された「2013クリスマスライブ！」に参加。30人ほどのテニスクラブ会員の皆さんと楽しいひと時を過ごすことが出来ました。

「二人の夢」は、レパートリーをさらに増やして、ボランティアの演奏活動をすること。そして、将来どこかで「ミニ・コンサート」を開催することです。

そして、「二人の願い」は「健康長寿」と、最後は「ピンピンコロリン」。

「今日一日、生かされていることに感謝して、楽しく・面白く 生きよう！」をモットーに、今日も下手は下手なりに「テニス」と「音楽」を楽しんでいます。



平成25年12月22日
泉パークタウンテニスクラブ・「2013クリスマスライブ！」

私がスキーを始めたのは北海道です。その頃冬季札幌オリンピック開催もあり、スキーブームでした。主人の転勤で盛岡に行った時、SIJ(全日本スキー連盟)の一級に挑戦し、運よくそれを取得しました。時間をつくってはスキー場へ足を運び滑っていました。

その後、SIA(日本職業スキー教師協会)の方々と一緒に滑る機会に恵まれました。そしてスキーの技術・マナーなど視野を広めることができスキーの楽しさを学ぶことができました。

何年か過ぎて再び主人が盛岡へ赴任した時、SIA からスキーコーチを依頼されました。果たして私にできるか迷いましたが引き受けました。スキースクールは一般の人も多いのですが、驚いたのは関東地方からの高校の修学体験学習生の多いことでした。その当時は、学生の校内生活の乱れがひどく教師も困っており、当スクールでも相談を受けておりました。尚、この修学体験学習旅行は、文部省の体育指導の一環として始められたと言われています。

一学校へのコーチの期間は、二泊三日、三泊四日でした。生徒の中には、スキーは初めての人、やりたくない人、積極的に滑って上達したい人、校内一の暴れん坊だったり、色々でした。生徒達をまとめ落ちこぼれなく教えることは、大変な努力と忍耐が必要でした。それでも私はスキーが大好きで気にならず、コーチを続けることができました。

そして、仙台に引越してからもコーチを続けることにしました。家を朝五時半に出て、東北自動車道を利用しスキー学校ロッジに着くのは八時半です。直ぐミーティング、準備、そして九時半からのレッスン等、慌ただしいものでした。一週間のコーチを終わり、家に帰る際は夕方の五時～六時にロッジを出発し東北自動車道を走りますが、大雪や強風、ある時はアイスバーンでガリガリの道路だったり、それに疲労もあり途中で仮眠をとりながら事故も無く、夜の十時頃には家に辿り着きました。スキースクールは、その繰り返しで行われ、二月の末まで続けました。

三月には海外スキー研修旅行があります。それが一番の楽しみでした。その中でも“スイスのマッターホルンの山を滑降したい”それが夢でした。

1997年3月、マッターホルンへの夢が叶いました。スイスのジュネーブからバスに乗り、少し細長くて大きなレマン湖の側の道路を走り、山の麓まで行きます。ここから自然保護のため、電車に乗り換えてツェルマットへ向かいます。ツェルマットの駅に着くと、交通機関は電気自動車と馬車だけでした。ホテルは近いので歩きました。そして、目に映ったのはマッターホルンの素晴らしい姿でした。

一日目は快晴、今日は電車に乗り山の上のスキー場まで行きます。電車から降りて山に立って見ると、各国のスキーヤーが大勢いて大賑わいでした。私達グループは直ぐに大自然のコースをトレーンで滑降を始めると、周りの人々は驚いている様子でした。ある時は、何のグループですかと声を掛けられることもありました。思う存分広範囲を滑降した後の昼食は、山の上のレストランです。雄大な大自然に聳え立つマッターホルンをバックに、仲間や世界中のスキーヤーと共に賑やかに食事を摂り満喫しました。天候にも恵まれ、自然の雄大さと美しさに圧倒され、写真を何枚も撮りました。毎日新しいコースを滑降しますので、心も弾み疲れが全く感じませんでした。ある時は、朝暗いうちにホテルを出てマッターホルンの朝焼を写そうと頑張りましたが、綺麗には撮れません





でした。今日は足も軽やかにホテルから歩いて五～六分のリフト乗り場へ行くと、スキーで有名なあの親・子の、三浦敬三スキーヤーがいらしてました。思わぬ出会いと一緒に写真を撮り、エネルギーを頂きました。また、フランスのバルディゼールへ行った時は、三浦雄一郎スキーヤーにもお会いしました。

今日はマッターホルンの周りを滑ります。少しずつ滑降しながらマッターホルンに近づき、写真を撮っては滑り、山の魅力に見とれ、何枚も写しました。

マッターホルンの裏にも行き滑降しました。裏はイタリアです。小さなチェルヴィニア街があります。

そこで買い物をしていると、ウォーキングしているイタリアの高校生と出会い、写真を撮ったり思わぬハプニングに楽しみました。最後はマッターホルンを眺めながら表を滑りました。ホテル近くまで止まらないで行くため、初めは大滑降で滑り途中から直滑降に変えました。相当スピードが出ましたが、なんとか降りることができました。スピードにまかせて道路に入ると、残り2kmぐらいをストックで押しながらの滑走でした。どうにかホテルに着きました。力を出し切った充実感もあり、思わず“やったー”と、歓声があがりました。

この一週間晴天に恵まれ、怪我も無かったこと等、最後まで大満足のスキー研修の旅でした。

今は右足麻痺のリハビリと、両足の爪の調子が悪くスキーを休んでおります。再びスキー滑降できることを願ってリハビリに励んでおり、またテニスも頑張っております。

[事務局からのご連絡]

○入・退会の手続きについて

入会希望者は、当連盟の事務局または役員に連絡して「入会申込書」と専用の「年会費振込票」を入手し、申込用紙に必要事項を記入して、事務局または役員に送付（直接手渡し可）すると共に、振込票にて年会費（個人会員：2,000円、家族会員：3,000円）を郵便局から振り込んで下さい。

年会費を振り込まれた方には、事務局より当年度の「会報」（含む、年間行事予定表・各種大会申込用ハガキ）、会員名簿等を送付します。これで入会手続きが完了です。

退会したい場合は、ハガキまたはFAXにて事務局または役員に退会する旨連絡して下さい。

○年会費納入について

年会費は、この会報が届き次第忘れずに専用の「年会費振込票」にて納入をお願いします。

年会費納入の有無確認手続き上、必ず「振込票」にてお願いします。

現金での手渡しや会員の通帳からの連盟への振込みは行わないで下さい。

納入締切日（9月末日）を過ぎても振込みがない場合は、退会扱いとなりその後の連盟主催の各種行事に参加できません。また、連盟からの連絡事項や次年度の「会報」等送付されません。

納入締切日迄に忘れずに納入して下さい。

「年会費振込票」は、各会員に会報に同封しておりますが、万一同封されていない時、あるいは紛失した場合には、事務局宛または役員に連絡して下さい。また納入したかどうか忘れた方は事務局に問い合わせ確認して下さい。また振込みをした時の「受領書」は、間違い（手違い）を防ぐため1年間は保存して下さい。

[逝去された会員]

廣川 勝生 様

外山 坦 様

岩月 賢一 様

岩井 隆太郎 様

謹んでご冥福をお祈りいたします。

[諸行事案内と参加申込み方法]

当連盟主催の行事は、二つに大別されます。「予め参加申込みの必要な大会」と、その必要のない「月例シニアテニス競技大会」です。これら「年間の諸行事」等のうち、申込締切りが本会報の発行前となる大会については、「年度初めの行事予定」と「大会要項」を、3月末日総会のご案内時にお知らせいたします。

総会において、「年間の諸行事」「大会要項」が確認・決定されます。この結果を会報の「年間の諸行事予定」「大会要項」「参加申込ハガキ」としてお届けいたします。

予め参加申込みの必要な大会に参加の方法は、大会要項をよくご覧になり、行事名・開催期日・会場・時間・参加費・申込み方法・申込締切日等を確認のうえ、私製「申込ハガキ」（52円切手を貼る）又は「官製ハガキ」に必要事項を記入して、必ず締切期日までに届くよう投函して下さい。

1. 予め参加申込みの必要な大会

これらの大会には、次に示すように、原則としてパートナーと「ペア」で申込む大会と、「単独」で申込む大会がありますので、各大会の要項をよく見て申込んで下さい。単独で申込む大会の場合の組分けやペアは、年令や技量を勘案して役員会で決めます。

○年齢別ダブルス大会【ペア】	○秋季ダブルス団体戦【単独】
○混合ダブルス大会【ペア】	○冬季混合ダブルス大会【単独】
○技量別ダブルス大会【ペア】	○年齢別室内ダブルス大会【単独】
○宮城県テニスマスターズ春季・秋季大会【ペア】	○春季ダブルス団体戦(総会)【単独】
○東北マスターズテニス大会【ペア】	○県南・県北ブロック交流会【単独】
	○対いわき VTC 親善交流大会【単独】

- ◇ 各行事の申込締切日は、それぞれの「年間行事予定表」や「大会要項」に記載されていますので、忘れないようご注意ください。
- ◇ 参加、不参加の混乱を避けるため、申込みは、ご本人が私製「申込みハガキ」で行なって下さい。家族会員の方は連名で結構です。
- ◇ 雨天等で開催期日または会場が変更された場合等のご案内は、別途お知らせします。

2. 月例シニアテニス競技大会

月例競技大会は、従来どおり自由参加とし、時間は、午前10時から午後5時(6月～10月)、(4月～5月は午後4時)、(11月～12月は午後3時)までです。都合の良い時間にお誘い合わせの上ご参加下さい。尚、未入会の方は参加時に入会の手続きをとって下さい。会場は、「年間行事予定表」に示してある通り、3つの会場を使用します。

参加費は500円です。尚、試合方法は、連盟の趣旨「会員相互の交流・親睦を深め、健康の維持増進に努める」を踏まえ、試合毎に出来るだけパートナーや対戦相手を変える方法で行なうようご協力お願いします。新入会員の方や会員に知り合いの少ない方、体力や技量などに少々自信がなくて知らない人との試合はどうも・・・と思っている方も、気楽に参加して下さい。パートナーや対戦相手で不安が有りましたら、当日の担当役員に申し出て下さい。出来るだけ意に沿うように努めたいと思います。

3. 連盟主催の大会の他に、宮城県テニス協会・東北テニス協会が主催する大会

詳細については、県テニス協会(ホームページ)、東北テニス協会(ホームページ)を参照して下さい。または、青木興一(県テニス協会常任理事：電話251-6411)まで、お問合せ下さい。

ホームページの開設について

(URL: <http://miyagi-ikiiki-tennis.com/>)

長年の懸案事項であった当連盟のホームページが、会員の中村行秀さんのご尽力により、昨年5月15日に開設されました。開設のご案内は、前会報発行後であったため、ウイークデー交歓会や各種大会時に掲示にて行ってきましたが、少々PR不足であったことご容赦願います。

今後とも、広く一般に「みやぎいきいきテニス連盟」をPRする、会員にタイムリーな情報を提供する、会員増強の一助にする、ことをモットーに、会報と相互補完し合い、情報を広く発信して行きたいと思えます。

アクセスは、「Yahoo」とか「Google」などで、みやぎいきいきテニス連盟で、検索すれば、直ぐご覧になれます。ご意見・ご感想は、今迄通り事務局までよろしく願います。

尚、事務局ではホームページ管理人の後継者を探しております。少しでも「ホームページ作成ソフト」を使ったことのある方なら、より大歓迎です。是非ご協力下さい。吉報をお待ちしております。

◇昨年12月7日の連盟祭り時、会報及びホームページに関するアンケートを実施させて頂き、72名(参加者83名)の方々から貴重なご意見を頂きました。今後の会報編集並びにホームページ運用に反映させて頂きたいと思えます。ご協力有難うございました。

〔平成26年度 大会実施要項の変更等について〕

平成25年度の各種大会を進める中で、役員会での意見や会員の皆様から寄せられたご意見を整理し、新年度の年間行事に反映させて行くこととします。

審議事項	決定事項
(1) 年齢別ダブルス大会の年齢種目の見直しについて (現状) 男子:120 ⁺ /130 ⁺ /140 ⁺ 女子:110 ⁺ /120 ⁺ /130 ⁺	・平成26年度 年齢別ダブルス大会の種目を変更「女子135歳以上」と「男子150歳以上」を追加する。 (理由) 女子は135 ⁺ ではなく140 ⁺ とする意見もあったが、140 ⁺ は参加者が少ないことが懸念されるし、女子130 ⁺ は年齢が上がって人数が多くなっている。 男子150 ⁺ は140 ⁺ も多くなっているし女子とのバランスをとった。(男女とも4種目とした)
(2) 優勝ペアのパートナー組替え (現状) 過去に優勝した組はパートナーを替えるか若い年齢種目に出場してください。 期間は10年とする。	(変更) ・過去に優勝した組に加え、優勝経験者個人同士もパートナーを替えるか若い年齢種目に出場して下さい。 期間は5年間とする。
(3) 大会集合時間と終了時間の変更 (シェルコム内の寒さと道路凍結)	・冬期間1月～3月の大会(シェルコムせんだい)は、 大会集合時間:9:00(担当役員は8:45) 大会終了時間:16:00(閉会式含めて)
(4) シニアクラスについて	・シニアクラスは3年間実施してきたが、参加者が少なくなってきたことから来年度は外すこととする。
(5) 三大大会の優勝カップの取扱い (役員が預かるケースが多い)	・優勝ペアは、優勝カップを責任を持って持ち帰り、大会当日、責任を持って返還すること。
(6) 仙台市のコートを利用する大会の「大会実施要項」について	・仙台市のコートを利用する連盟主催の全ての大会は、 主催:みやぎいきいきテニス連盟 主管:仙台市テニス協会 と明記する。
(7) 連盟まつり(団体戦)の名称変更	・大会名を変更します [秋季ダブルス団体戦] [春季ダブルス団体戦(総会)]
(8) WEEKDAY交歓会の名称変更	・「WEEKDAY交歓会」 → [月例シニアテニス競技大会]

平成26年度年間行事予定

開催日	行事名	会場	申込締切日
4月18日(金)	県南ブロック交流会	グリーンピア岩沼	3月25日済み
4月24日(木)	月例シニアテニス競技大会	七北田公園コート(6面)	—
5月17日(土)	年齢別ダブルス大会	七北田公園コート(8面)	5月7日必着
5月28日(水)	月例シニアテニス競技大会	七北田公園コート(6面)	—
6月10日(火)	月例シニアテニス競技大会	泉総合運動場コート(6面)	—
7月9日(水)	月例シニアテニス競技大会	七北田公園コート(6面)	—
7月19日(土)	混合ダブルス大会	七北田公園コート(8面)	7月9日必着
8月11日(月)	月例シニアテニス競技大会	泉パークタウンTC(6面)	—
8月28日(木)	県北ブロック交流会	松島運動公園コート(4面)	8月21日必着
9月4日(木) 5日(金)	対いわきVTC親善交流大会 (みやぎいきいき主催)	グリーンピア岩沼	7月28日必着
9月13日(土)	技量別ダブルス大会	七北田公園コート(8面)	9月3日必着
9月26日(金)	月例シニアテニス競技大会	七北田公園コート(6面)	—
10月2日(木) 3日(金)	第24回東北マスターズテニス 山形大会	天童テニスコート	8月20日必着
10月16日(木)	月例シニアテニス競技大会	七北田公園コート(6面)	—
11月5日(水)	月例シニアテニス競技大会	泉総合運動場コート(6面)	—
11月15日(土)	秋季ダブルス団体戦	七北田公園コート(8面)	11月5日必着
12月1日(月)	月例シニアテニス競技大会	七北田公園コート(6面)	—

平成27年

1月14日(水)	冬季混合ダブルス大会	シェルコムせんだい	1月4日必着
2月13日(金)	年齢別室内ダブルス大会	シェルコムせんだい	2月3日必着
3月26日(木)	春季ダブルス団体戦(総会)	シェルコムせんだい	3月16日必着

平成26年度 県・市大会予定

開催日	行事名	会場	申込締切日
4月27日(日)	宮城県テニスマスターズ春季大会 ねんりんピック栃木大会選手選考大会	シェルコムせんだい	4月18日必着
10月12日(日)	仙台市高齢者生きがい健康祭	七北田公園コート(8面)	9月25日必着
11月1日(土)	宮城県テニスマスターズ秋季大会 ねんりんピック山口大会選手選考参考大会	七北田公園コート(8面)	10月21日必着

※宮城県テニスマスターズ春季大会は、同時に第27回ねんりんピック栃木大会の選手選考大会が行われます。

※仙台市高齢者生きがい健康祭は、第28回ねんりんピック山口大会の選手選考大会です。

※宮城県テニスマスターズ秋季大会は、同時に第28回ねんりんピック山口大会の選手選考参考大会が行われます。

平成26年度 各種ダブルス大会開催要項-1

年齢別ダブルス大会	混合ダブルス大会
<p>期日：平成26年5月17日(土) 9:00～17:00 8:45分まで集合</p> <p>会場：七北田公園コート(8面)</p> <p>種目〔女子〕110以上、120以上、130以上、135以上 〔男子〕120以上、130以上、140以上、150以上 平成26年12月31日現在のペア合計年齢とします</p> <p>試合方法：各種目とも原則としてラウンドロビン方式</p> <p>参加費：1200円/人(当日会場にて徴収します)</p> <p>表彰：各種目毎に優勝、準優勝、3位まで表彰します 但し、参加組数により変わります。 入賞者を除きお楽しみ抽選会があります。</p> <p>参加申込：所定の「申込ハガキ」あるいは「官製ハガキ」にパートナー等、必要事項を明記して申し込んで下さい。過去に優勝した組に加え優勝経験者個人同士もパートナーを替えるか、若い年齢種目に出場してください。(期間は5年間です) 尚、単独での申込みも可ですが、パートナーはご一任下さい。</p> <p>申込受付：4月17日～ 締切日:5月7日必着</p>	<p>期日：平成26年7月19日(土) 9:00～17:00 8:45分まで集合</p> <p>会場：七北田公園コート(8面)</p> <p>種目：混合ダブルス Aクラス Bクラス Cクラス</p> <p>試合方法：各種目とも原則としてラウンドロビン方式</p> <p>参加費：1200円/人(当日会場にて徴収します)</p> <p>表彰：各種目毎に優勝、準優勝、3位まで表彰します 但し、参加組数により変わります。 入賞者を除きお楽しみ抽選会があります。</p> <p>参加申込：所定の「申込ハガキ」あるいは「官製ハガキ」に必要事項を明記して申し込んで下さい。過去に優勝した組に加え優勝経験者個人同士もパートナーを替えるか、上位のクラスに出場してください。(期間は5年間です) 尚、単独での申込みも可ですが、パートナーはご一任下さい。</p> <p>申込受付：6月19日～ 締切日:7月9日必着</p>
技量別ダブルス大会	秋季ダブルス団体戦
<p>期日：平成26年9月13日(土) 9:00～17:00 8:45分まで集合</p> <p>会場：七北田公園コート(8面)</p> <p>種目：技量別ダブルス 〔女子〕 Aクラス Bクラス Cクラス 〔男子〕 Aクラス Bクラス Cクラス</p> <p>試合方法：各種目とも原則としてラウンドロビン方式</p> <p>参加費：1200円/人(当日会場にて徴収します)</p> <p>表彰：各種目毎に優勝、準優勝、3位まで表彰します 但し、参加組数により変わります。 入賞者を除きお楽しみ抽選会があります。</p> <p>参加申込：所定の「申込ハガキ」あるいは「官製ハガキ」に必要事項を明記して申し込んで下さい。過去に優勝した組に加え優勝経験者個人同士もパートナーを替えるか、上位のクラスに出場してください。(期間は5年間です) 尚、単独での申込みも可ですが、パートナーはご一任下さい。</p> <p>申込受付：8月13日～ 締切日:9月3日必着</p>	<p>期日：平成26年11月15日(土) 9:00～17:00 8:45分まで集合</p> <p>会場：七北田公園コート(8面)</p> <p>種目：女子・男子・混合のダブルスによる団体戦</p> <p>試合方法：参加者全体を4チームに分けて、女子、男子、混合の各ダブルスペアーをつくり種目毎の団体戦を行います。</p> <p>参加費：1000円/人(当日会場にて徴収します)</p> <p>表彰：各チーム毎の成績を集計し、優勝、準優勝、敢闘賞の順に表彰、賞品の授与があります。</p> <p>参加申込：所定の「申込ハガキ」あるいは「官製ハガキ」に必要事項を明記して申し込んで下さい。 (単独申込となります)</p> <p>申込受付：10月15日～ 締切日:11月5日必着</p>

平成26年度 各種ダブルス大会開催要項-2

<p style="text-align: center;">冬季混合ダブルス大会</p> <p>期日：平成27年1月14日(水) 9:00～16:00 9:00分まで集合</p> <p>会場：シェルコムせんだい(6面)</p> <p>種目：混合ダブルス Aクラス Bクラス Cクラス</p> <p>試合方法：各種目とも原則としてラウンドロビン方式 パートナーは1回ごとに変わるものとします。 尚、パートナーは役員会にご一任ください。</p> <p>参加費：700円/人(当日会場にて徴収します) (賞品はありません)</p> <p>参加申込：所定の「申込ハガキ」あるいは「官製ハガキ」に種目区分を明記し単独で申し込んで下さい (単独申込となります)</p> <p>申込受付：12月14日～ 締切日:1月4日必着</p>	<p style="text-align: center;">年齢別室内ダブルス大会</p> <p>期日：平成27年2月13日(金) 9:00～16:00 9:00分まで集合</p> <p>会場：シェルコムせんだい(6面)</p> <p>種目 [女子]55歳以上、60歳以上、65歳以上 [男子]60歳以上、65歳以上、70歳以上 [平成27年4月1日現在の満年齢とします]</p> <p>試合方法：各種目とも原則としてラウンドロビン方式 パートナーは1回ごとに変わるものとします。 尚、パートナーは役員会にご一任ください。</p> <p>参加費：700円/人(当日会場にて徴収します) (賞品はありません)</p> <p>参加申込：所定の「申込ハガキ」あるいは「官製ハガキ」に種目区分を明記し単独で申し込んで下さい (単独申込となります)</p> <p>申込受付：1月13日～ 締切日:2月3日必着</p>
<p style="text-align: center;">春季ダブルス団体戦(総会)</p> <p>期日：平成27年3月26日(木) 9:00～16:00 9:00分まで集合</p> <p>会場：シェルコムせんだい(6面)</p> <p>種目：女子・男子・混合のダブルスによる団体戦</p> <p>試合方法：参加者全体を4チームに分けて、女子、男子、混合の各ダブルスペアーをつくり種目毎の団体戦を行います。 尚、当日連盟の総会が開催されますので多くの方々のご参加をお願いします。</p> <p>参加費：500円/人(当日会場にて徴収します)</p> <p>参加申込：所定の「申込ハガキ」あるいは「官製ハガキ」に必要事項を明記して申し込んで下さい。 (単独申込となります)</p> <p>申込受付：2月26日～ 締切日:3月16日必着</p>	<p style="text-align: center;">対外部関係大会</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p style="text-align: center;">対いわきVTC親善交流大会</p> <p>期日：9月4日(木)～5日(金)</p> <p>会場：グリーンピア岩沼テニスコート</p> <p>締切：7月28日(月)</p> <p style="padding-left: 20px;">いきいき主催で開催されます。</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p style="text-align: center;">県北ブロック交流会</p> <p>期日：8月28日(木)</p> <p>会場：松島運動公園テニスコート</p> <p>締切：8月21日(木)</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p style="text-align: center;">第24回東北マスターズテニス山形大会</p> <p>期日：10月2日(木)～3日(金)</p> <p>会場：天童テニスコート</p> <p>締切：8月20日(水)</p> <p style="padding-left: 20px;">最近では宮城県の参加者がやや少ないので沢山の参加者を募ります。 詳細決まり次第ご連絡差し上げます。</p> </div>

平成25年度行事実績

期 日	行 事 名	会 場	参加者	
			25年度	24年度
4月11日(木)	春季団体戦	シェルコム	67	—
4月22日(月)	Weekday 交歓会	七北田公園	47	32
5月22日(水)	Weekday 交歓会	七北田公園	67	33
5月25日(土)	年齢別ダブルス大会	七北田公園	80	雨天中止
6月14日(金)	Weekday 交歓会	泉総合運動場	48	51
6月29日(土)	混合ダブルス大会	七北田公園	70	雨天中止
7月16日(火)	Weekday 交歓会	南インター	42	37
8月12日(月)	Weekday 交歓会	泉パークタウン	70	50
8月31日(土)	技量別ダブルス大会	七北田公園	72	74
9月26日(木)	Weekday 交歓会	七北田公園	47	41
10月24日(木)	Weekday 交歓会	泉総合運動場	31	22
11月15日(金)	Weekday 交歓会	七北田公園	45	48
12月 4日(水)	Weekday 交歓会	七北田公園	44	34
12月 7日(土)	連盟祭り(団体戦)	シェルコム	83	75
1月15日(水)	冬季混合ダブルス大会	シェルコム	49	60
2月14日(金)	年齢別室内ダブルス大会	シェルコム	54	53
3月13日(木)	Weekday 交歓会	七北田公園	19(午後雨天中止)	39
3月27日(木)	春季団体戦・総会	シェルコム	91	81

対外関係行事実績

期 日	行 事 名	会 場	参加者	
			25年度	24年度
4月19日(金)	県南交流会	グリーンピア岩沼	46 (県南13,仙台33)	45 (県南13,仙台32)
4月27日(土)	県テニスマスターズ 春季大会	シェルコム	58(合計78)	72
9月14日(土) 15日(日)	対いわきVTC親善大会	平テニスコート	いわき(30) みやぎ(16)	いわき(21) みやぎ(36)
10月 3日(木) 4日(金)	東北マスターステニス 福島大会	郡山庭球場	男子17、女子15	男子8、女子5
10月10日(木)	県北交流会	松島運動公園	64 (男子27,女子37)	56 (県北20,仙台36)
10月27日(日) 28日(月)	第26回ねりんピック こうち大会	県立春野運動公園他	県2、市3 (いきいき会員)	県13、市11 (いきいき会員)
11月 9日(土)	県テニスマスターズ 秋季大会	七北田公園	39(合計56)	50

平成25年度総会報告

副会長 奈良 征一郎

「シェルコムせんだい」で、3月27日昼食時間を利用して約50分で開催しました。

総会参加者は91名・委任状提出者43名と多くの参加者で盛会でした。

和田会長の挨拶に始まり、各担当部長の説明で審議が行われ、参加者の承認を頂きましたので報告いたします。詳細は〈会報#45号〉を熟読頂き、ご理解とご協力をお願いします。

会長挨拶では、「平成25年度は予定した全22行事すべて実施されました」、「新役員3名を指名しました」、「役員全員の協力で会員のため努力します」などの報告がされました。

総会終了後、「春季連盟祭り(団体戦)」の午後の部を続行し、予定通り楽しく終了できました。

平成25年度決算

平成26年度予算

みやぎいきいきテニス連盟規約

<総 則>

第1条 (名 称)

本会はみやぎいきいきテニス連盟と称する。

第2条 (会 員)

本会は次に掲げる正会員、特別会員及び賛助会員
以って構成する。

- ・正会員：宮城県内に居住または勤務する、男子60歳以上、女子55歳以上のテニス愛好者とする。但し、正会員が県外に転出した場合は、本人の希望により正会員の資格を継続することが出来る。
- ・特別会員：正会員の中で80歳以上の会員を特別会員とする。
- ・賛助会員：本会の趣旨に賛同し、本会ら活動を支援する個人及び団体とする。

第3条 (目 的)

本会はテニスを通じて、会員の健康増進と相互の友好を図ることを目的とする。

第4条 (活動内容)

本会はその目的を果たすため次の活動を行う。

- (1) テニス大会
- (2) テニス練習会
- (3) 会報の発行
- (4) その他、本会の趣旨に沿い役員会にて企画されたこと。

<会 計>

第5条 (事業年度)

本会の事業年度は、4月1日に始まり翌年の3月末日に終わる。

第6条 (活動費)

本会活動に必要な経費は、正会員が納める年会費と、大会・練習会ごとに徴収する参加費及びその他の寄付金を以てあてる。

第7条 (会 費)

正会員は、年会費を納めなければならない。
但し、特別会員は、これを免除される。
年会費は、総会で定める。

第8条 (予算・決算)

役員会は、年度末に翌年度における諸活動の実行計画及びそれに伴う予算案並びに、当年度の決算案を作成し、総会の承認を得なければならない。

第9条 (緊急・臨時支出)

当年度の予算案に提示とれていない緊急・臨時の費用については、役員会の議を経て支出することが出来る。但し、この場合においては次の総会に報告し、総会の承認を得なければならない。

第10条 (会費納入期限)

会費の納入期限は、毎年9月末とする。納入なき場合は休会扱いとし、以後の通信連絡は行わない。年度内に納入なき場合は退会扱いとする。

<役員・役員会・総会>

第11条 (役 員)

本会の活動を組織的に実行するために必要数の役員を置く。役員の任期は2年とし、前年度の総会において選出する。再任または重圧は妨げない。各役員は、第12条に示す会務に就く。

- ・会 長：役員相互選によって会長1名を選出する。会長は本会を代表すると共に、第12条に定める役員会を招集しその議長となる。
- ・副会長：副会長は、役員の中から1ないし2名を会長が指名する。副会長は会長を補佐し会長に事故ある時はその役を代行する。
- ・会計監事：2名の会計監事を前年度の総会において選出する。会計監事は会計役員が行う業務の監査を行う。任期は2年とし、再任または重圧は妨げないが、原則として引き続いて3年を超えることは出来ない。

第12条 (役員会)

役員会は、役員会で定めた専門部と事務局をもって構成し、本会の諸活動を具体的に企画実施するための協議を行うと共に会務を掌理する。

第13条 (総 会)

総会は、全会員で構成し、本会の活動方針の大綱を定め、役員会が提示する活動計画面案・予算案・活動報告案及び決算案を審議する。
総会は会員の十分の一以上の出席によって成立する。なお、委任状を以て出席に代えることができる。

第14条 (事務局)

本会の事務を処理するために事務局を置く。
事務局は、会員の動向・連絡調整・会計等の任務を掌理する。事務局所在地は、事務局(長)担当者宅とする。

<付 則>

第15条 本規約に定める他、本会の具体的な企画実施に必要な細則は役員会で定めるものとする。

第16条 本規約の改正は総会の議決による。

<細 則>

第17条 平成14年12月現在、60歳未満の男子会員及び55歳未満の女子会員は正会員として当連盟に留まることが出来る。年齢別大会等の実施内容については、その時点の状況を考慮とて、役員会において検討を行い善処する。

(平成 8年 3月26日改正)

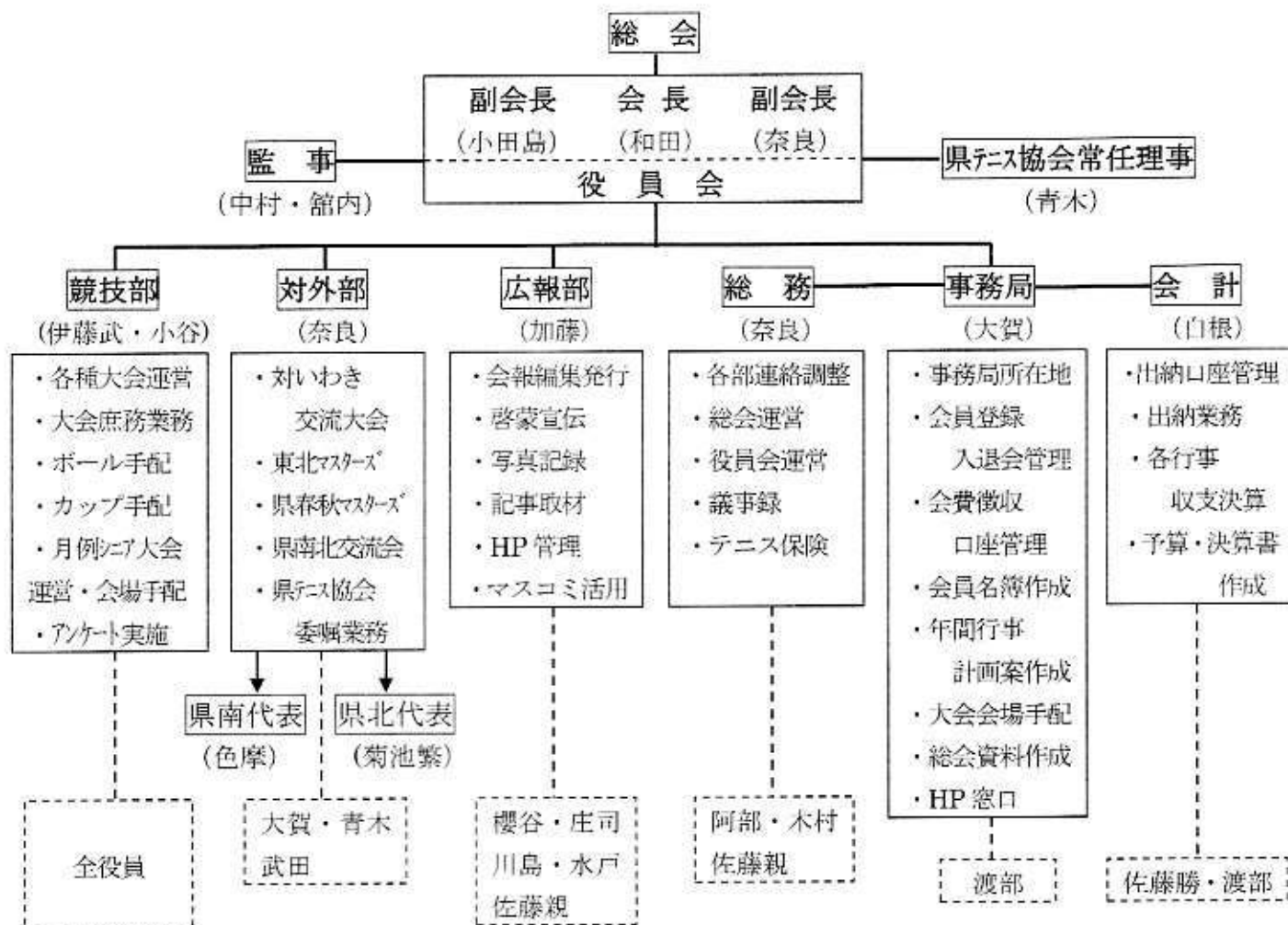
(平成 9年12月 6日改正)

(平成14年12月 7日改正)

(平成15年12月 6日改正)

(平成21年 1月 9日改正)

平成26年度みやぎいきいきテニス連盟組織体制



*新役員は、佐藤親良、水戸真理子、館内規之です。どうぞよろしくお願ひします。

(編集後記)

- ◇会員皆様のご協力により、会報第45号を発行することが出来ましたこと、お礼申し上げます。
- ◇長年の懸案事項であった「ホームページ」が、昨年5月に開設出来ました。
少々PR不足でしたが、情報発信の一手段として今後の運用・発展を期待しています。
- ◇昨年は、猛暑・台風・豪雨・竜巻など異常気象が続きました。いきいきの行事は幸い天候に恵まれ、三大大会をはじめとして年間行事が予定通り開催でき、活動報告、優勝者の一言等盛り沢山な内容になりました。優勝者は偏っているようですが、ダブルスは何が起きるか分かりません。名前と顔に負けずに頑張りましょう。
- ◇特集として、テニスとは別の趣味を鈴木義昭さん・高橋功さん・樋口義修さん・太田せつ子さんにご寄稿頂きました。野菜・花を育てるにはまず土作りから、ドライブ・スケッチそして温泉宿での癒し、音楽は夫婦円満・健康の証、海外特にスイスマッターホルンでのスキーの醍醐味、と内容豊かな特集となりました。皆様、お忙しい中ありがとうございました。

(S. K記)

編集発行 みやぎいきいきテニス連盟役員会	印刷 (株)仙台紙工印刷 〒983-0036 仙台市宮城野区苦竹3-1-14 電話 022-231-2245 [URL] http://sendai-shiko.jp/
----------------------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------